

第3期 平成30年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第1回暮らし部会 議事概要

日 時 平成30年6月19日（火） 14:00～16:00

場 所 区役所本庁舎3F 302会議室

出席委員 川村委員、郭委員、長谷部委員、小野委員、余委員、センブ委員、バーバー委員、金（朋）委員、ファトマワティ委員、本多委員、森田委員 11名

欠席委員 丁委員、鈴木委員、梶村委員、安藤委員、井上委員、 5名

1 開会

2 審議結果報告書（案）について

- ・お互いを知るためにも多文化共生まちづくり会議は貴重であるし、同じまちで生活を共にしながら、わかり合っていくことが大切である。
- ・紙媒体だけでなく、映像など様々な手段で情報の伝え方を工夫したい。
- ・外国人の中には「トラブルが起きると外国人だからという理由で不利益を被るのでは」と不安に思う人もいるのではないか。国籍を理由に、権利は侵害されないことを伝えたい。
- ・新宿生活スタートブックに自転車保険について仕組みがイメージできない人のため、保険に加入していると事故のとき一般的にどのような利点があるのか書けると良い。
- ・大々的でなくとも、地域の行事等の小さな交流を積み重ねて、相互理解の成功例を作りたい。
- ・交流を促すためのイベントに対するニーズ（開催場所や曜日、内容）は、生活形態や在住目的等によって異なる。参加者が、次の機会に友人や家族を連れてくる場合もあるので、一度にたくさんの参加がなくとも、粘り強く継続することが肝要である。
- ・ルールやマナーの情報提供は日本人側からしか発信できないが、交流の機会は日本人・外国人どちらからも働きかけがあると良い。
- ・部会では日頃のコミュニケーションが大切であることを確認し、それが足りないことでルールやマナーが守られなかったり、情報が届かなかったりすることが明らかとなった。「情報提供」「交流の機会」の順で議論してきたが、最終報告書ではポジティブなメッセージとして出すためにも「交流の機会」「情報提供」の順で提言したい。

3 その他

事務局から全体会等について説明があった。

4 閉会